

記者発表資料	
令和6年7月5日	
担当課 (担当)	交通政策課 宮谷・森本
電話	30-8326 (内線 7621)

持続可能な地域交通を目指して ～深化した自動運転バスの実証運行を実施します～

公共交通の自動運転化を進める本市では、自動運転バスの社会実装に向けて更なる検証を進めるため、昨年度に続き、国の支援を受けて実証運行を実施します。

《実証実験の目的》

- 多くの方に自動運転技術を体感していただき自動運転についての理解の深化。
- 自動運転車の運行上の課題を整理し、社会実装に向けた検証の実施。



《将来的な目標》

公共交通の自動運転化を推進し、限られた交通資源（運転手、車両等）を効率的に再配分し、市民の皆様が安心して暮らせる持続可能な地域交通体系を構築。

1. 実施体制

事業主体・事業総括／鳥取市
運行事業者／日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)
運行管理者／WILLER(株)（本社：大阪市）
車両管理者／(株)ティアフォー（本社：名古屋市）

2. 実施時期

令和6年11月下旬～令和7年1月下旬
※上記期間のうち、約1カ月で実施予定（調整中）

3. 前回（本年2月）実証運行からの変更点

- （1）周回ルートに変更
※前回：鳥取BT→若桜街道→城跡周辺→若桜街道→BT
 - （2）信号機との連携（9か所予定）
 - （3）途中乗降できる停留所を設置（箇所未定）
- 自動運転率 90%以上をめざします
※前回の自動運転率：80.2%

4. 使用車両（前回と同じ）

- （1）車両タイプ
Mini bus（EVバス）1台
- （2）自動運転レベル
レベル4相当 ※自動運転走行時：レベル2
- （3）最高速度
70 km/h ※自動運転走行時：35 km/h
- （4）定員（運転手含む）
25名 ※自動運転走行時 16名

5. 事業費

80,000千円
※国交省：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率 10/10）を活用
※令和6年度9月補正予算に計上予定

《運行エリア・ルート》



【運行便数】6～10便/日

【運賃】無料

※試乗日や運行ダイヤなど、具体的な運行計画は調整中

《使用車両》



写真：(株)ティアフォー提供